

上富岡倶楽部

2009.3
vol.3

長岡技術科学大学同窓会報



長岡技術科学大学と同窓会との「きずな」の発展に向けて

長岡技術科学大学 理事・副学長 西口 郁三

卒業生・修了生の皆様！、ご卒業、ご修了おめでとうございます。

最初に自己紹介をさせていただきますが、私は現在、小島 陽学長の下で大学評価／産学官・地域連携担当の理事・副学長を務めております「西口郁三」と申します。私は、平成8年4月より関西から本学化学系（現物質・材料系）教授として赴任させて頂き、昨年（平成20年）3月末に定年退職し、4月より現職に就いております。勤務させて頂いてから未だ13年弱ですので、大多数の同窓生の皆様は恐らくご存じないと存じますが、何卒宜しく願い申し上げます。今回、幸いにも「同窓会だより」にご挨拶させて頂く機会を与えて頂きましたので、日頃からの同窓会への思いやお願いを述べさせていただきます。

ご存じのように、本学は平成18年10月に創立30周年を迎え、多くの教職員や卒業生・修了生の皆様の弛まない貴重なご努力やご活躍により、大学として全国的にその名が知れ渡るようになり、我が国の代表的な理工系大学としての地位を築きつつあります。一部の外国大学からは、「日本のポリテック大学」との、高い評価も受けております。また、卒業生や修了生の皆様が、多くの企業や教育研究機関で大変顕著な活躍をされている事もしばしば耳にして、大変頼もしく、また嬉しく存じております。

ところが、本学の同窓会と大学の絆、特に各研究室の教員と修了生・卒業生との繋がりはそれなりに密であるとしても、組織的な関係の話題になりますと、大変失礼で申し訳ありませんが、少なくとも今までは他大学に比べて甚だ物足りなかつたのではないかと存じます。

そこで、小島学長の発案で、昨年より同窓会長の磯部広信氏を、本学の管理運営に重要な任務を果たしております「経営協議会」の外部委員に加わって種々貴重なご意見を頂いており、今後、従来希薄であった大学と同窓会の絆を強くし、相互の信頼関係を向上させたいと存じております。また、大学の同窓会への別の熱い思いの発露として、昨年8月の長岡花火の後に、本学同窓生でもある、現在本学の教授や准教授の先生方を講師とする技術講演会が開催され、大変好評を博しました（下記参照）。

さらに、大学側では、学長を中心として、同窓生の中で種々の分野で著しい活躍や業績を修められた方々を、大学が表彰する制度の創設も検討しようとしております。その他、個人的には、「同窓生と大学を結ぶ絆の便り」とする、本学が発刊しております「VOS」誌のご希望の同窓生の方への郵送や、日本国内での同窓会支部の設置などを検討されては如何か、と存じております。何卒宜しくご検討の程お願い申し上げます。

新技术！説明会

物質材料系教授 斎藤 秀俊



平成20年8月4日に同窓会主催行事としては初めての開催となった本学の研究成果説明会「新技术！説明会」がマルチメディアセンターで開催されました。この企画は本学の現

役教員による同窓生向けの研究紹介で、同窓生がいち早く本学の発明に触れることで、同窓生が勤務する企業等と大学とが共同研究するきっかけとなることを期待して行われました。第1回目であったため、本学出身教員10名で

プログラムを固めました。たとえば機械系 田辺郁男 教授（1982年 創造設計工学専攻修了）は最新の成果から、すでに実用化に至っている技術までを、レーザーカラー発色や完全試作レスCAE技術を題材として説明しました。電気系 中川匡弘 教授（1982年 電子機器工学専攻修了）はカオス・フラクタル感性情報工学を利用した先端的な技術展開について、実用例を示しながら解説しました。

懇親会では、同窓生と本学教職員の会話が弾みました。さらに、講演のうち数件はその後の共同研究実施に結びつき、上々の滑り出しとなりました。このような企画で同窓生・大学双方のアクティビティ向上に貢献できたことから、同窓会の重要性がますます大きくなると確信しました。

OBトークショー



技大生らしい就職活動ってどんなものなんだろうか、関係者でいろいろ考えていく必要があるのではないかと。…この様なサブテーマを自身で勝手に想定して、今回2回目を担当させて頂きました。

「就職」に関する当たり前の情報は、冊子やwebでいくらでも入手可能ですよね。

それでは、「会社のホンネ」みたいな形で、世の中に出る準備をおこなっている学生さんに良い事も悪い事？も

「現代の一般企業ってこんなですよ」みたいなやりとりをおこなう事で、いわゆる「就活」の一環として役立てて欲しい、との認識で進めました。

事前に受けていた質問内容から、どんどん脱線しながらのトークに終始。数名の元気な学生さんに犠牲になってもらいながら進めました（ターゲットになって頂いた方、有難う御座いました）。

流れからして、トークショーと言うよりも対多数のお喋りみたいになってしまいましたが。

結論として、一般論であります。まずは「コミュニケーション」がとれる者を企業は求めております。企業は結局は人間同士のやりとり、せめぎ合い。メールでは雄弁でも、人間に対して会話が出来なければ、先には進めません。最初はへこむ事、自分の無知を痛感する事9割でしょう。その中でも会社先輩や同僚と仕事を進めていく為には、「コミュニケーション」が最重要です。

これらの能力どうやってつけるの？研究室で仲間や指導教官先生ととんとん議論する事ですね。

気が進まない相手とやりとりしなければならないのも社会です。周りの意見を聞く、自分の考えを述べる、軋轢を恐れずいろいろな方とやりとりして下さい。学生ならではの特権ですから。

他細かい事はいろいろありますが、人間関係が築ければそれからはどうにかになります。この際には、理論武装した数式でのやりとり（←理系学生すきでしょ・笑）や、語学力を生かす機会が必ず出てきますから。

情報過多が当たり前であり、これらを追いかければ追いかけるほど、自らを不安に陥れてしまうかもしれませんね。

不況であっても新卒採用は続きます。腰を落ち着けて「就きたい職種」を決めましょう。技大には社外に顔が広い先生方、又企業勤めして評価されている卒業生が多く存在します。

是非先生や卒業生（≡研究室OB/OG）、又同窓会を頼って下さい。必ず有益なアドバイスが得られます、そう信じて相談する勇気を持って欲しいと思います。

又、徹底的に研究活動をおこない、議論を交わし、卒論・修論を完遂させ発表する、その過程で技大生本来の実力が右肩上がりについていくと思います。それを忘れずに行動して欲しいですね。

人前で喋る機会は仕事柄でも多々ありますが、多数の学生さん、緊急参加頂いた副学長先生、又懇談会で来校されていた保護者様の視線にさらされてのトークは、良い緊張感を持つ事が出来、この機会に参画させて頂いた事に感謝しております。

(1987年3月 材料開発工学専攻 修了 安井 忠)

「女性限定！(マル秘)社会人のヒミツ」に参加して



9月13日お昼前より、マルチメディアセンターで女性限定OGトークが行われました。

外は技大祭真っ最中ということもあり、学

部から修士まで、中には内定をもらった学生さんなど12~3名の女子学生さんたちが集まってくれ、楽しく和気藹々と話しをすることができました。

社会人になって4年になります。学生時代は、自分に何ができるのか、本当に就職していいのかなど、色々な悩みながら就職活動をした覚えがあります。私のような若輩者の話が参考になったかどうかはわかりませんが、学生さんと話していると就職に対する悩みは、面接のこと、就職活動のこと、男女差のことなど、私自身が就職活動していたときと変わらないものだと思った反面、やはり女性が少ない分、女性に対するケアが十分でないと感じました。ぜひ同窓会でこのような機会を増やし、学生さんたちの力になっていって欲しいと思います。

(2005年3月 材料開発工学課程卒 土橋 真子)

技大祭 OBブース



平成20年9月13日(土)、9月14日(日)に行われました第28回技大祭において、今年は長岡市内の4社の企業からOBブースの出展がありました。昨年度から実施したこのOBブースの出展について、最初に話をいただいた時、実現は不可能かと思われました。これは私の知りうる限り、技大祭で企業が出展したことがなかったからです。しかし、同窓生の「技大OBとして技大祭に何

か協力したい」という熱い思いと同窓会役員の皆様の協力を得て、平成19年の技大祭で2社からの出展で実現に至りました。技大祭に同窓生が連携することで、在学生の間にも今までの技大祭とは違う何か一体感のある雰囲気生まれてきました。この点から見ても技大祭でOBブースが出展したことは非常にプラスでした。これは私見ですが、今後の技大祭は学生と同窓会、大学教職員が連携し、大学のひとつのイベントとしてお互いが様々な面で協力できる体制になることが重要になってくると思います。まだ実施から2年しか経過していませんので運営等課題はありますが、このOBブースが技大祭を変えるひとつのきっかけになるといいと思います。

(学務部学生支援課学生係 星野 雄軌)

長岡花火と技科大同窓会

長岡高専 鈴木 秋弘



平成20年8月3日
午後7時47分
新時代のテクノロジーを創造する熱き技術者からの夢と希望を花火に託して、ベスピアス超大型スターマイン「ニューテクノパワー」打ち上げでございます。…このアナウンスとともに長岡技

術科学大学同窓会の花火が信濃川上空に打ち上げられ、約40万*にも及ぶ観衆の目に触れたこととなります(*長岡まつり協議会発表の来場者数2日45万人 <http://nagaokamatsuri.com/event.html>)。

今回は、花火の日程が土・日曜日に加え、フェニックス花火、天地人花火「愛と雪」等、周囲の期待が大きかったのを準備をされていて感じました。これまでの2回を担当された熊倉監事がアレンジした花火は金・銀・きらびやかで、見応えのあるものでした。そこで今回は趣向を変えて

「VOS」の文字を入れた仕掛け花火を一つの目玉にして、途中は破裂音の激しいひまわりを入れ、最後は錦冠で終わるように花火師に要望しました。打ち上げ最初に、VOSの文字が数回表れましたが、わかる人には「ああ〜」、わからない人には「何?」「どういう意味?」という感じで興味は喚起できたのではないのでしょうか。

大学も独法化してから、その存在をアピールするためにTVのCMに登場するなどいろいろな取り組みが見られます。大学・同窓生をバックアップする同窓会として、大学がお世話になっている地元への貢献策、そして、長岡で暮らし、或いは帰郷した同窓生に対して、長岡花火の協賛は効果的な事業ではないのでしょうか!



支援事業の紹介

全国ビーチサッカー大会

生物機能工学専攻 M2 有田 和旦

私たちはこの度、沖縄県宜野湾市で開催されたJFA(財団法人日本サッカー協会)主催の第3回全国ビーチサッカー大会に、北信越地区代表「長岡技術科学大学 蹴球隊」として参加してきました。

ビーチサッカーはその名の通り砂浜で行うサッカーです。グラウンドでのサッカーや体育館でのフットサルとは異なり、砂浜で行うために、体力の浪費が激しく、ボールコントロールも難しいという過酷なスポーツです。その一方で、コートが狭いため攻守の切り替えが早く、展開から目が離せない、足場が砂浜で柔らかいということからダイビングヘッド、オーバーヘッドキックなどの空中でのア

クロバティックなプレーが多く見られるなど多くの魅力を含んだスポーツでもあります。

私たちの1回戦目の対戦相手は、ビーチサッカー日本代表を数名含む、前回大会準優勝のビーチサッカーのプロチームでした。結果は残念ながら完封負けとなってしまいましたが、学ぶべき点が多く、非常に良い経験となりました。残りの2試合では、その試合の反省を生かして得点を奪い健闘しましたが、予選リーグ敗退となりました。私は卒業してしまっていますが、来年後輩たちがリベンジしてくれることを願っています。



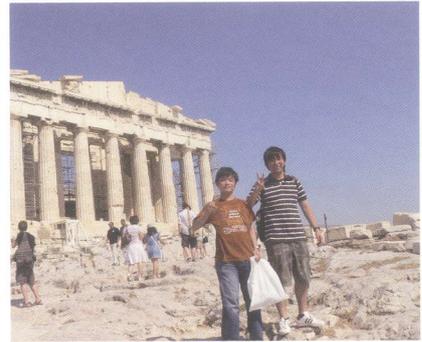
同窓会に向けて

近年、地球環境問題が深刻化しており、これらを改善する技術が要求されています。しかし、受験生の“理数科離れ”、“工学離れ”が問題化しており、科学技術創造立国を目指す日本の将来に不安を感じています。

そこで、我々は、地域から世界に向けて、工学の素晴らしさ、楽しさ、社会に対する貢献度を積極的にアピールしていくことが必須です。そのためには、「長岡技術科学大学」＝「世界から注目される技術を発信する大学」であり続けなければなりません。素晴らしい技術は、多くの人々が切磋琢磨し、協力し合って生み出すものです。

同窓会は、その人脈を広げ、交流を深める場であることを期待しています。私も、その一員となれるように、努力していきたいです。

電気電子情報工学専攻 M2 田村 浩志



同窓会会報の愛称が決定しました！

同窓会では開学30周年を期に同窓会会報を発行するとともに、その愛称を会員の皆様に募集しましたところ、おかげさまでいろいろな方々からご応募をいただきました。ご提案頂きました愛称は長岡技大への様々な思いが込められたもので、同窓会役員で何度も議論を行いました。しかし、どれか1つを選ぶことはできませんでした。そこで同窓会役員の多数決によって決定させて頂くこととし、その結果選ばれたのが「上富岡倶楽部」です。

長岡技大で生活していた頃、郵便のあて名書きや企業との連絡など数限りなく上富岡町という言葉を使ったことと思います。その頃のことを思い出し、同窓生の皆さんが気軽にふらっと立ち寄り、昔話を楽しめるような会であってほしいという思いが込められております。これからも「上富岡倶楽部」をどうぞよろしくお願いいたします。

(経営情報系 助教 吉田富美男)

●平成19年度 事業報告 一般会計収支 <自：平成19年3月1日～平成20年2月29日>

- 名簿データの管理、同窓会HPの運営・管理
- 卒業祝賀会、学位記カバー、技大祭等への助成
- VOSの配布、同窓会報の発行
- 長岡まつり大花火大会打ち上げ
- OB・OGトークショー開催

■収入

科目	金額(円)
入会金	6,690,220
積立金の取り崩し	21,652,615
雑収入	191,837
COE推進経費返還	492,000
前期繰越金	19,598,582
合計	48,625,254

■支出

科目	金額(円)	内訳
事業費	2,557,325	通信・運搬 52,865 広報費 277,515 助成・貸与 2,226,945
事務費	233,692	入会・名簿代返金 0 OA機器 0 消耗品 0 会議費 139,140 雑費 94,552
新規積立	0	
次期繰り越し	45,834,237	
合計	48,625,254	

●平成20年度 事業計画 一般会計収支 <自：平成20年3月1日～平成21年2月28日>

- 名簿データの管理、同窓会HPの運営・管理
- 卒業祝賀会、学位記カバー、技大祭等への助成
- VOSの配布、同窓会報の発行
- 長岡まつり大花火大会打ち上げ
- OB・OGトークショー開催

■収入

科目	金額(円)
入会金	6,000,000
積立金の取り崩し	0
雑収入	200,000
前期繰越金	25,834,237
合計	32,034,237

■支出

科目	金額(円)	内訳
事業費	3,600,000	通信・運搬 600,000 広報費 1,500,000 助成・貸与 1,500,000
事務費	500,000	OA機器 150,000 消耗品 50,000 会議費 50,000 雑費 250,000
新規積立	20,000,000	
予備費	1,000,000	
次期繰り越し	6,934,237	
合計	32,034,237	

編集後期

愛称がきまりましたが、これからも皆様に親しまれる同窓会でありたいです。(J.I.)
百年に一度の不況といわれていますが、技術力でチャンスへと変えていけると信じております。(S.Y.)

同窓会連絡先

長岡技術科学大学同窓会

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
電話/FAX 0258-46-5505 e-mail dosokai@vos.nagaokaut.ac.jp

住所、勤務先、帰省先などに変更がございましたら、下記までご連絡ください。

1. ホームページ：<http://www.info-niigata.or.jp/~nut-doso/>
2. ファックス：0258-46-5505
3. 郵送：〒940-2188 長岡技術科学大学 同窓会 (個別郵便番号だけで届きます)